

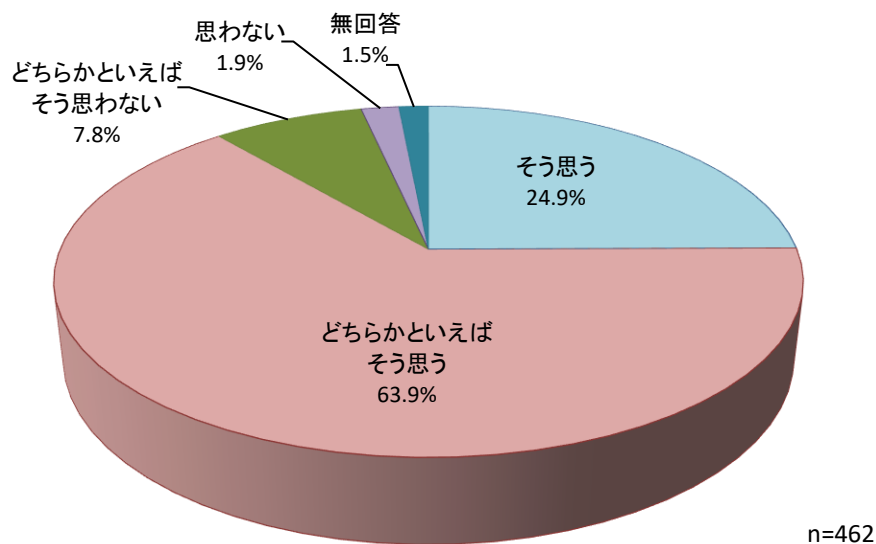
29. 防犯・交通安全に関する意識・状況について

(1) 安心して暮らすことができているか

◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う（計）】が約9割

問94	宇都宮市では、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指した取組を推進していますが、あなたは普段、宇都宮市で生活する中で、安心して暮らすことができていると思いますか。（○は1つ）	n=462
1	そう思う	24.9%
2	どちらかといえばそう思う	63.9%
3	どちらかといえばそう思わない	7.8%
4	思わない	1.9%
	（無回答）	1.5%

<図IV-29-1>全体



安心して暮らすことができていると思うかについては、「そう思う」が24.9%、「どちらかといえばそう思う」が63.9%で、これらを合わせた【そう思う（計）】は88.8%であった。一方、「思わない」が1.9%、「どちらかといえばそう思わない」が7.8%で、これらを合わせた【思わない（計）】は9.7%であった。（図IV-29-1）

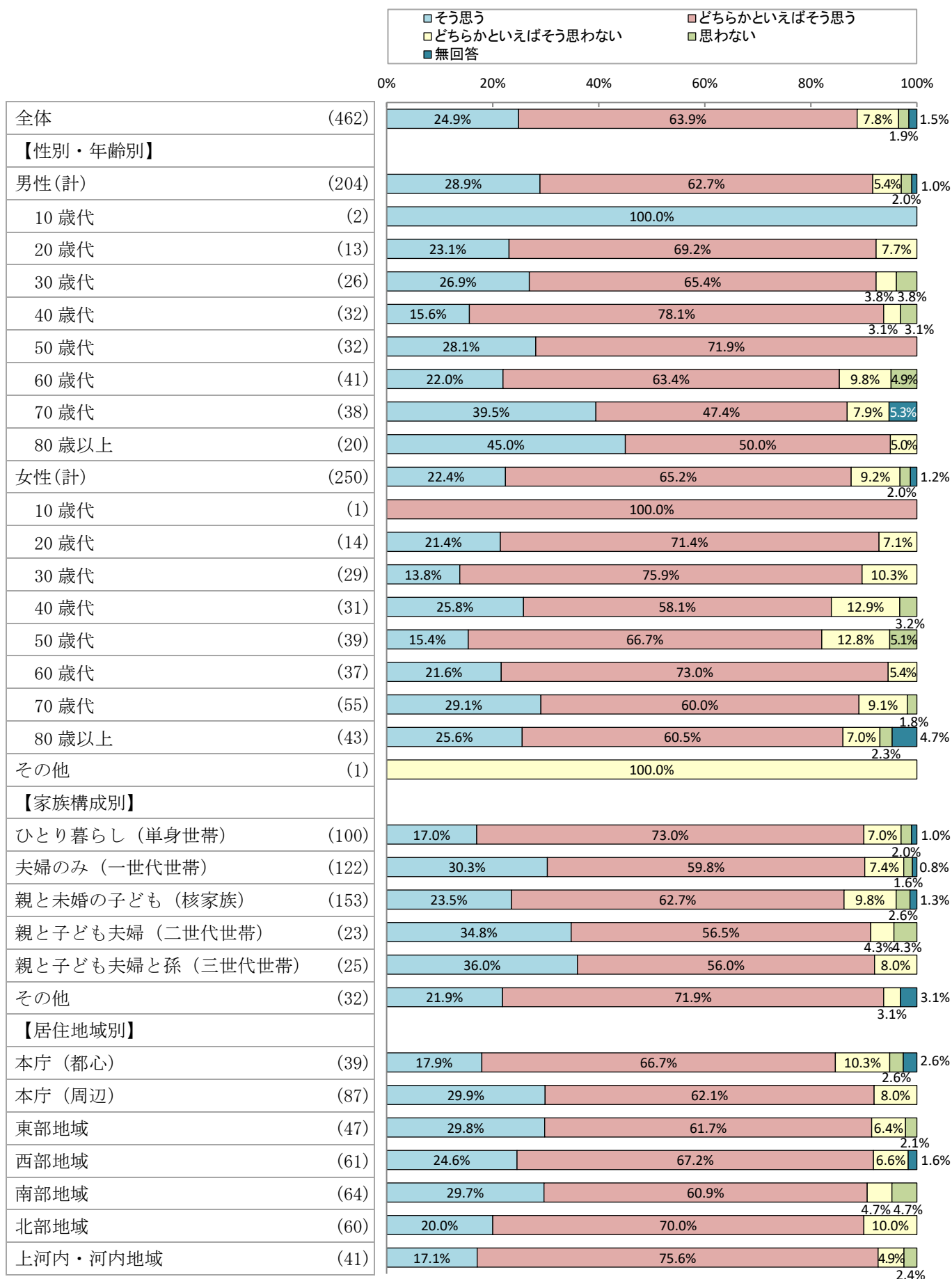
<参考>

性別・年齢別でみると、【そう思う（計）】は＜男性10・50歳代＞＜女性10歳代＞が100.0%、＜男性80歳以上＞が95.0%であった。【思わない（計）】は＜その他＞を除くと、＜女性50歳代＞が17.9%で最も高く、次いで＜女性40歳代＞が16.1%であった。（図IV-29-2）

家族構成別でみると、【そう思う（計）】は＜その他＞を除くと、＜親と子ども夫婦と孫（三世帯世帯）＞が92.0%で最も高く、次いで＜親と子ども夫婦（二世帯世帯）＞が91.3%であった。【思わない（計）】は＜親と未婚の子ども（核家族）＞が12.4%で最も高く、次いで＜ひとり暮らし（単身世帯）＞＜夫婦のみ（一世帯世帯）＞がいずれも9.0%であった。（図IV-29-2）

居住地域別でみると、【そう思う（計）】は＜上河内・河内地域＞が92.7%で最も高く、次いで＜本庁（周辺）＞が92.0%であった。【思わない（計）】は、＜本庁（都心）＞が12.9%で最も高く、次いで＜北部地域＞が10.0%であった。（図IV-29-2）

<図Ⅳ－２９－２>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別



(2) 自転車乗車用のヘルメットの所持および着用状況

◇「普段自転車を利用しておらず保有もしていない」が約7割

問95 自転車乗車中の交通事故で亡くなった人の半数以上が頭部に致命傷を負っていることなどから、本市では自転車利用者のヘルメット着用を推進しています。

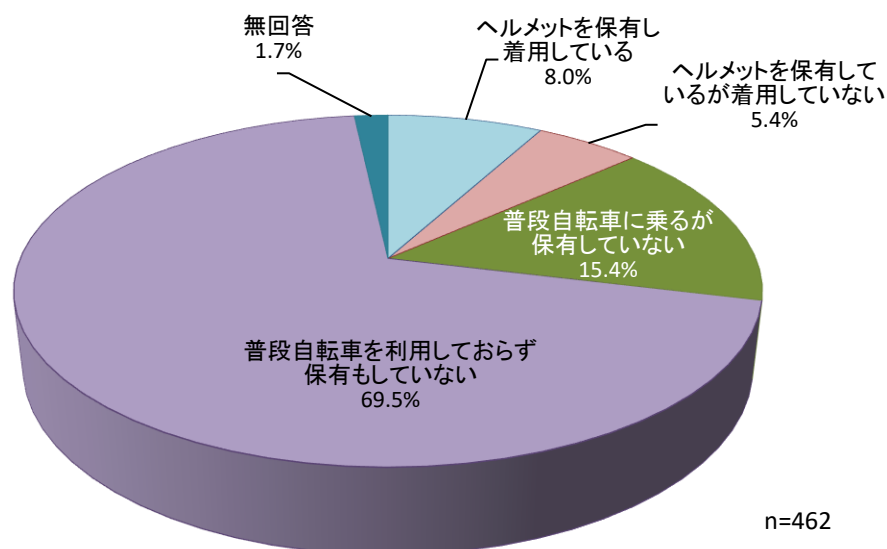
あなたは、自転車乗車用のヘルメットを保有していますか。また、自転車乗車中は着用していますか。

(○は1つ)

n=462

1	ヘルメットを保有し着用している	8.0%
2	ヘルメットを保有しているが着用していない	5.4%
3	普段自転車に乗るが保有していない	15.4%
4	普段自転車を利用しておらず保有もしていない	69.5%
	(無回答)	1.7%

<図IV-29-3>全体



自転車乗車用のヘルメットを保有および自転車乗車中の着用については、「普段自転車を利用しておらず保有もしていない」が69.5%で最も高く、次いで「普段自転車に乗るが保有していない」が15.4%であった。(図IV-29-3)

<参考>

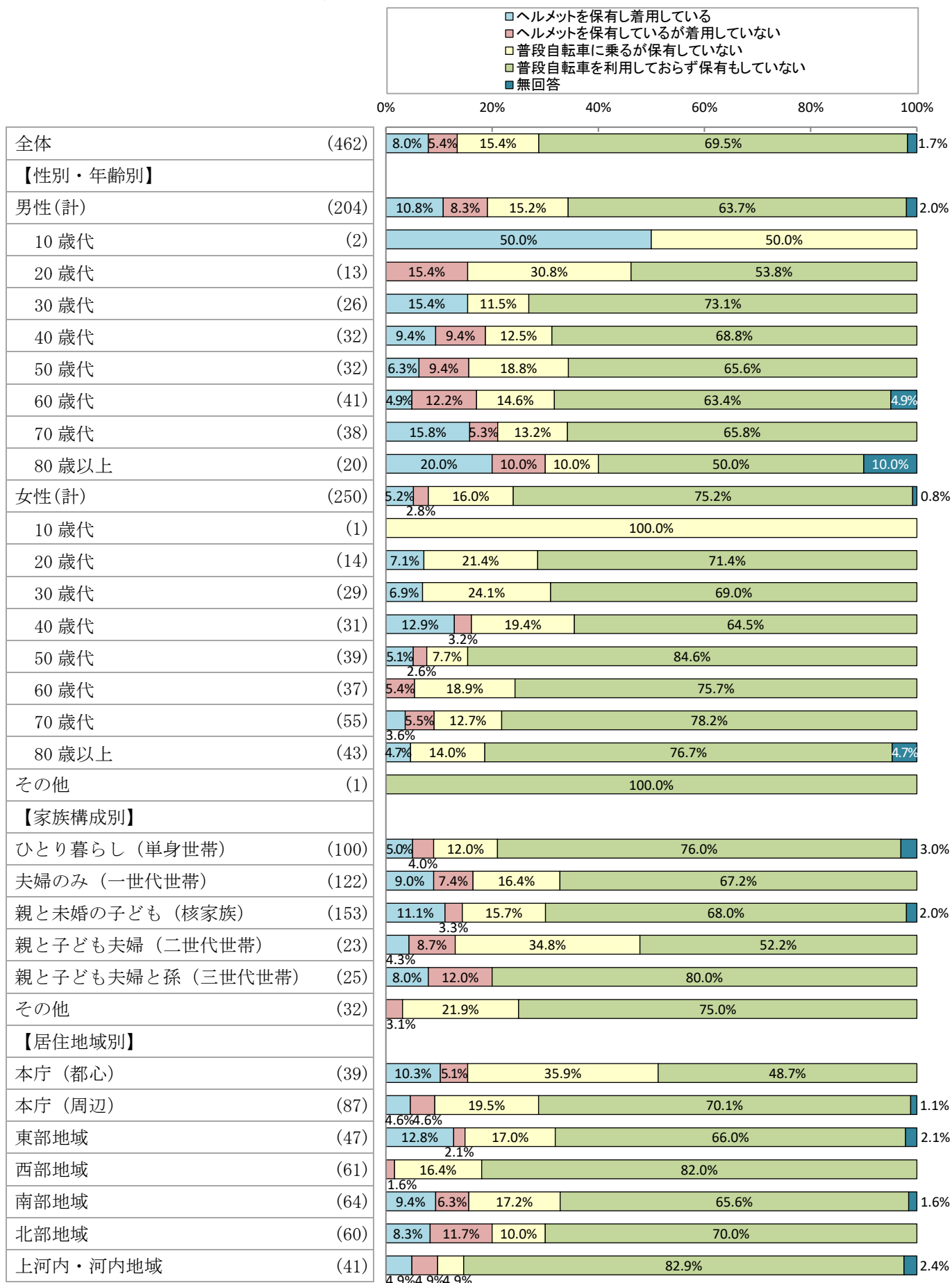
性別・年齢別で見ると、「普段自転車を利用しておらず保有もしていない」は<その他>を除くと、<女性50歳代>が84.6%で最も高く、次いで<女性70歳代>が78.2%であった。「普段自転車に乗るが保有していない」は<女性10歳代>が100.0%、<男性10歳代>が50.0%であった。(図IV-29-4)

家族構成別で見ると、「普段自転車を利用しておらず保有もしていない」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が80.0%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が76.0%であった。「普段自転車に乗るが保有していない」は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦(二世代世帯)>が34.8%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世代世帯)>が16.4%であった。(図IV-29-4)

居住地域別で見ると、「普段自転車を利用しておらず保有もしていない」は<上河内・河内地域>が82.9%で最も高く、次いで<西部地域>が82.0%であった。「普段自転車に乗るが保有していない」は<本庁(都心)>が35.9%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が19.5%であった。

(図IV-29-4)

<図Ⅳ－２９－４>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

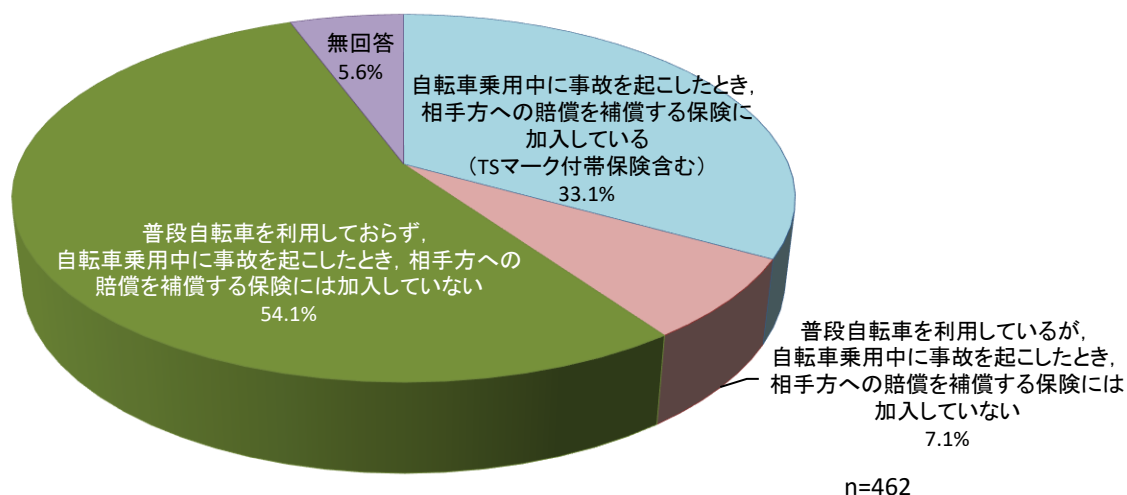


(3) 自転車保険の加入状況

◇「普段自転車を利用しておらず、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険には加入していない」が5割半ば

問 9 6	宇都宮市では、「交通事故のない社会」を目指し、総合的な交通安全対策を推進していますが、あなたは、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手のけがの治療費などを補償する保険（自転車保険）に加入していますか。	(○は1つ) n=462
1	自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険に加入している (TS マーク付帯保険含む)	33.1%
2	普段自転車を利用しているが、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険には加入していない	7.1%
3	普段自転車を利用しておらず、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険には加入していない (無回答)	54.1% 5.6%

<図Ⅳ－29－5>全体



自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手のけがの治療費などを補償する保険（自転車保険）に加入しているかについては、「普段自転車を利用しておらず、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険には加入していない」が54.1%で最も高く、次いで「自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険に加入している（TS マーク付帯保険含む）」が33.1%であった。

(図Ⅳ－29－5)

<参考>

性別・年齢別でみると、「普段自転車を利用しておらず、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険には加入していない」は<女性 70 歳代>が67.3%で最も高く、次いで<女性 60 歳代>が62.2%であった。(図Ⅳ－29－6)

家族構成別でみると、「普段自転車を利用しておらず、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険には加入していない」は<ひとり暮らし（単身世帯）>が63.0%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が60.9%であった。(図Ⅳ－29－6)

居住地域別でみると、「普段自転車を利用しておらず、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手方への賠償を補償する保険には加入していない」は<北部地域>が65.0%で最も高く、次いで<西部地域>が62.3%であった。(図Ⅳ－29－6)

<図Ⅳ－２９－６>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

